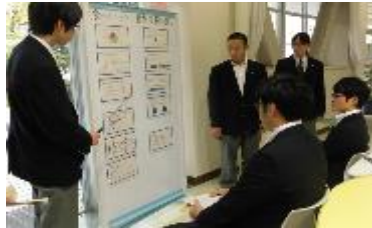


金沢大学院生に中間発表を行いました!!

2年SGコース対象

2017年11月22日(水)に金沢大学の大学院生に向けて、2年SGコースが取り組んでいる課題研究の中間発表を行いました。それぞれのグループのプレゼンを2人の大学院生にプレゼンを見てもらい、ディスカッションもしました。大学院生ならではの視点からの意見や助言を聞き、研究のあり方について新たな学びが得られたようです。



発表の仕方やアンケートのとり方、根拠づけなど幅広い視野で自身の体験談もおりませて話してくれた。体験談があるところも説得力が増すのかと思い知り、これからもできるだけフィールドワークに行き経験を積んでおくのも良いかもしれないと思った。



今までとは違う視点からの意見をたくさん聞くことができました。例えば社会背景や企業のしくみに目を向けると良いなど、自分たちでは思いつかない、大人だからこそその意見でとても貴重な機会となった。

Discussion Dayが開催されました!!

1年生対象

2017年12月9日(土)に1年生全員が参加するディスカッションデーがありました。県内のALT19名、金沢大学留学生18名の合計37名を迎えて交流しました。生徒は3人~5人で1つのグループとなって1人の外国人と英語で会話をしました。生徒は達成感を得られたり、得られなかったり...と様々な反応があったようです。ここで得た、新たな発見や自分自身の課題を忘れずに、日々の学習に取り組んでいきましょう!!



外国人相手に英語で話すには、もっと英語を勉強しなければならないと思った。でも、単語だけでも話せば相手が理解しようとしてくれて嬉しかった。



相手の言っていることが分かり、自分の言いたいことが伝わったときは嬉しくて達成感を感じた。英語を話すことに楽しさを感じた。



国によって英語のなまりがあるため、違うふうに聞こえることがあると初めて知りました。



外国人と話す機会があまりないのでこのようなプログラムがあるととても嬉しいし、またしてみたいと思いました。もっと積極的に話せるように頑張ります。



インドネシアや中国の方など様々な国の方と英語を使ってコミュニケーションができたのがとても感動しました。自分の英語が通じるんだという自信につながりました。

「NS 探究 α」課題研究校内発表会を行いました!!

2年文型対象

2017年12月14日(木)に2年文型が取り組んでいる「NS 探究 α」の校内発表会の本選が行われました。ここで選抜された3チームは、1月31日(水)に桜丘高校で行われる6校合同発表会に参加します。

どの班の発表にもそれぞれ工夫を凝らしたスライドやユニークな提言が見られました。また、聴衆の生徒たちからいくつもの質問があり、積極的な質疑応答に会場全体が盛り上がる様子はとても印象的でした。

- ★21H2班「石川の特産物の海外発信」
- 21H3班「国際理解と国際教育の必要性について」
- ★21H7班「シニア労働～労働の新ステージへ～」
- ★22H4班「Thrive again～意外なあれで～」
- 22H7班「石川のブランド食品をもっと広めるには？」
- 23H4班「外国人実習生と企業の在り方」



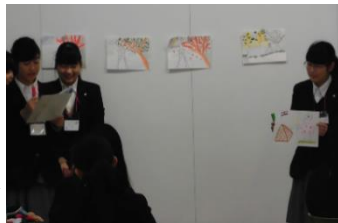
★3つのチームが学校代表に選ばれました!!

エンパワーメントを開催しました!!

1・2年希望者対象

2017年12月25日(月)から27日(水)にエンパワーメントプログラムを開催しました。27名の生徒が参加して、外国人留学生達と交流する機会となりました。3日間を通して、グループディスカッションやプレゼンなど、すべてのプログラムが英語で行われました。初めは不安そうだった生徒たちでしたが、最終日には全員英語でのスピーチをやり遂げ、これからの自信に繋がったように見受けられました。

●石川県の魅力を各チームでディスカッションし、プレゼンを行いました！
プレゼンに向けて各チームそれぞれ小道具を作成中・・・



●最終日、一人一人が将来の目標について語りました。
どの生徒も、目標をしっかりと持ち、自分の言葉でスピーチをやり遂げる姿は、とても逞しく見えました。



○生徒コメント○

- ・人と比べるのではなく、自分の良い所を見つけていきたい。
- ・自信が前よりついたし、まずは一言でも発してみようと思った。
- ・外国人も日本人も、人種関係なく、自分の考えは伝わるといことが分かって嬉しかったです。
- ・英語がもっと好きになった。参加して良かった。
- ・自分が改善すべきことと、続けていくことがはっきり分かった。

グローバルのススメ ～グローバル×私～ File5. 道上 和香子 先生(英語)

第5回目は道上先生です。先生の『グローバルな体験』とは…?

確か、年の瀬だったと思う。テレビには、クリスマスイルミネーションに彩られたニューヨークが映り、レポーターが待ち行く人たちに英語でインタビューしていた。その様子を居間で見ていた4歳のわが娘が質問した。「お母さん、NY って何弁？」

同居する祖父母は金沢弁、富山の祖父母はコテコテの高岡弁と、住む場所が違えば、言葉も異なることに気づきはじめて娘の疑問だった。どう答えたかは、覚えていない。が、国境や外国語の観念を知らず、たまたま地球の違う地域に住んでいるから、違った言葉を話しているだけという考えがとても素敵に思えた。

さて、2017年を振り返ってみると、国と国との境目を意識せざるをえない出来事が続いた。中でも、少女像の設置などに見る韓国と日本との「従軍慰安婦」問題の報道には毎回、切なくなる。留学したカナダの語学学校では、たくさんの韓国人留学生と友達になった。ソウルの才女が通う梨花女子大学に在学し、ジャーナリストを目指すクラスメートの凛とした姿にはトキメキに近い憧れすら抱いた。だから、韓国と日本の政治的感情の行き違いには、やるせなさを覚えることはあるが、彼女らを見ると、韓国の人たちを一方向的に批判する気にはなれない。

2018年となった今、冒頭の娘は泉丘の皆さんと同じ年頃となり、韓国アイドルに夢中だ。時折口ずさむ歌が韓国語だったりして、驚かされる。政治や国境は人を隔てるが、もともとは、同じ地球人で話しているのは「地球語韓国弁」や「地球語英語弁」。皆さんが、そんな境地にたつて、この世界を広く見られる「グローバル」な人に成長してくれることを切に願っている。